

水資源に関するシンポジウム開催について

< 発表論文の募集 >

会 期：昭和52年10月25日（火）～28日（金）の4
日間
会 場：未定（東京都内）
参 加 費：未定
主 催：土木学会，農業土木学会，空気調和・衛生
工学会，日本気象学会，日本地下水学会，
日本林学会。

論文の内容：下記のような内容の論文発表に限ります。
したがって、個々の技術論文のような
発表はご遠慮下さい。

1. 水需給の長期展望

全世界，全国，各地方等における水需給の現況および
長期的な水需給の見通しの結果，もしくは見通しの作成
のための資料の収集，解析および評価の方法を論じたも
ので，次の各項のいずれかに重点をおいたもの。

- a. 自然界における水循環および水資源の評価
(降水量，雪水，蒸発散，流出量，地下水，包蔵水
力，その他)
- b. 水需要の構造分析と将来予測
- c. 水資源供給量拡大の方策
(地下水涵養，人工降雨，海水淡水化，その他)
- d. 今後の政策選択
(水料金，産業配置，人口分散，需要抑制，水資源
開発，その他)

2. 水資源の有効利用

水資源の有効利用の実態，方法および効果を論じたも
ので，次の各項のいずれかに重点をおいたもの。

- a. 既存水利の合理的利用
(各種用水の合理化（発電用水を含む），有効利用，
その他)
- b. 水の再生利用
(下水処理水の再利用，産業廃水の再利用，その
他)

- c. 水量管理と制御
(ダムの統合管理，流況調整，その他)
- d. 水制度
(水利権，水配分，法制度（雑用水道，地下水），
その他)

3. 水資源の利用と環境

水資源の環境の改善または保全のための利用の実態，
方法および効果を論じたもの，もしくは水資源の利用に
付随して生じる環境への影響の評価の手法を論じたもの
で，次の各項のいずれかに重点をおいたもの。

- a. 河川環境の保全と流況
(各種用水と環境との関係，水質浄化用水，地域開
発と水資源，その他)
- b. 環境アセスメントの手法
(事例紹介だけのものは除く)

応募の方法：発表希望の方は題目，勤務先，発表者氏名
(主催学会会員の方はその旨お書込み下さ
い)に400～800字の内容梗概を付けて昭和
52年1月末日までに下記宛お申込み下さ
い。

160 東京都新宿区四谷1丁目 社団法人
土木学会内 水資源に関するシンポジウム
実行委員会

なお，応募件数により総括報告の形式をとる場合もあ
ります。また，論文の採否は上記委員会にご一任下さ
い。

採択された発表者には8月末日までに指定の原稿用紙
(2,000字詰) 6頁以内の論文をご執筆のうえ，ご提出
いただくこととなります。なお，シンポジウム当日は，
手書きにより提出された原稿をそのままオフセット印刷
し，参加者に配布し，シンポジウム終了後，当日の討論
内容を含めたファイナルレポートを印刷し，実費頒布す
る予定です。

月例会「長期予報・大気大循環」のお知らせ

主 題：長期予報・大気大循環
日 時：昭和52年2月24日（木）9時30分より
会 場：気象庁内
講演申込期日：12月25日（土）

申 込 先：気象庁長期予報課
(電話 03—212—8341 内線331)

荒 井 康